

# 事業報告書

---

## 第7期

自 2021年4月 1日  
至 2022年3月31日

---

ACAS

一般社団法人新CAS協議会

# 一般社団法人新CAS協議会

## 2021年度事業報告

【2021年4月1日～2022年3月31日】

### 1. はじめに

一般社団法人新CAS協議会は、2018年12月に始まった新4K8K衛星放送（4K・8K放送）に合わせて、放送コンテンツの保護管理に必要な新しいCASシステム（ACAS）の構築を目的に、2015年10月にスカパーJ SAT株式会社、株式会社スター・チャンネル、日本放送協会、株式会社WOWOWの4社により設立された。現在、ケーブルテレビ事業者、地上・衛星放送を含む放送事業者等15の正会員により運営されている。

4K・8K放送の開始後には、活動の中心は社会基盤としてのACASの普及・定着に移行し、4K・8K放送を含めた放送環境の更なる醸成に向け取り組んでいる。

2021年度末までにACASチップ向けに発行したID鍵の発行件数は、累計およそ2,000万件となり、市場におけるACAS搭載のテレビ等受信機は1,200万台超となっている。この間、ACASチップの製品としての信頼性は非常に高いことが実証されており、新しいCASシステムの初期実用フェーズを経て、今後の更なる安定普及が期待される。

2021年度は、チップ製造ベンダーとの連携により、問題発生時の“迅速な対応”を目途とした対策フローを確立し、市場におけるACASチップの品質監視体制を確立した。さらにACASのプログラムの更新にあたっての技術的課題を抽出し、アプリケーションの開発・検証を通じて次のステップに進めることができた。

今後も普及の拡大と方式の安定運用を進めながら、より多くの視聴者が、高品質の放送コンテンツを安心して楽しめる環境の維持に努める。放送に関わる幅広い分野の事業者との綿密な連携を進めながら、期待に応えられるようACAS方式がより強固な基盤となるよう努める。

### 2. 事業報告

#### 【2-1：技術部】

技術部では、4K・8K放送の本格的な普及に向けて、関係機関等と連携を図りながら放送コンテンツを適切に保護するための仕組み（ACAS方式）の安定運用及びセキュリティの維持・管理等に関する業務を進めた。

##### ①ACAS方式の運用

ACAS方式は、新4K8K衛星放送開始から3年以上の期間を経て、引き続き安定運用を継続しており、ACASチップについても、故障が少なく良好な品質を維持している。2021年度は、実運用環境においてダウンロード機能の技術検証を実施し、CASプログラム更新機能の実用性を明らかにした。

##### ②関連設備の運用

ACASセンター及び鍵管理センター設備による受信機メーカー及び放送事業者への鍵発行等を安全・確実に進めながら、新CASシステムの適切な運用を行った。

### ③セキュリティの維持・管理

運用フェーズにおける継続的なセキュリティ維持の取り組みとして、ACAS方式及びACASチップに関するセキュリティ監視、ACASチップの脆弱性評価、並びに放送事業者及び鍵管理センターのセキュリティ点検等を実施した。また、有識者による新CAS評価委員会では、2021年度のセキュリティ維持の活動内容等について委員に報告し、助言をいただいた。

### ④技術仕様等の整備

受信機メーカー及び放送事業者等に向けたACAS方式に係る技術仕様、並びにACAS方式運用及びセキュリティ維持に関わる規程等の維持管理を引き続き進めた。

### ⑤関係機関等との情報共有

ACAS方式の適正な普及と適切な維持管理を目的とし、放送事業者、ケーブルテレビ事業者等、受信機メーカー、CASベンダー及び関係機関等との情報共有と連携を図った。

### ⑥技術委員会等の運営

WEB会議システムを利用したリモート会議及びメール等を活用しながら、技術委員会及びCASベンダーとのコンサルティング会議等の適切な会議運営を継続的に進め、ACAS方式に関する技術情報の共有、迅速な課題解決を図った。

## 【2-2：運用業務部】

運用業務部では、ACASチップ用Km鍵の発行に関わる諸業務について、引き続き高い精度での運用を実施するとともに、関連業務の課題検討を行い開発、改善を進めた。

なお、3月の組織改正で、運用業務部の大半の業務を引き継いだ上で、技術部の一部業務を加え、技術企画部と名称を変更した。

### ①Km鍵発行業務

ACASチップ用Km鍵の発行業務について、関係先の協力のもと渉外部と連携し、正確な鍵発行を実施し、主要業務としての信頼性を担保するとともに、4K・8K放送普及に努めた。

鍵発行数量及び発行済みIDの集計データを有効に運用管理し、適切な情報共有を行った。

### ②ACASチップ在庫管理集計業務

販売会社から報告される発行済みKm鍵の使用状況とACASチップの販売状況について、在庫管理規程に沿った運用を行い、ACAS方式のセキュリティ維持に適うようデータの蓄積、集計に努めた。

増大するデータ量に対応するべく、管理手法を随時点検し、システムの改善を進めた。

### ③IP放送対応業務

IP放送の関係先からの報告、集計フローについて、関係先のシステム変更に柔軟に対応できるよう、集計システムの見直し改修を進めた。

#### ④運用スキームの改善

当協議会と契約した受信機メーカーが増える中、製造スキームやサプライチェーンも多様化しており、受信機メーカー個々の問い合わせへの対応が必要となっている。

そこで、受信機メーカーの様々な製造スキームを把握し、状況に応じて既存の運用スキームを改善しながら、ACAS搭載受信機の普及拡大を図った。

#### ⑤新たなスキームへの対応

2020年度に続き、ケーブルテレビのローカル自主放送向け運用スキームの構築に取り組んだ。

また、受信機メーカー等の問い合わせに応じて、他部門と連携しながら、市場ニーズに対応する新スキームの開発に取り組んだ。

#### ⑥運用委員会等の運営について

WEB会議システムも活用し、運用委員会等の会議運営を通じ、会員各社と協力しながらACAS方式の安定運用に必要な課題に対応した。

### 【2-3：渉外部】

渉外部では、ACASチップの更なる普及を促進するとともに関係者間の連携を強化した。

また、スキームを広く消費者にご理解いただくために、関連団体や企業、事業者と連携し、具体的な説明環境を整える等の活動を進めた。

なお、3月の組織改正で、渉外部の業務を引き継いだ上で、運用業務部の一部業務を加え、運用部と名称を変更した。

#### ①ACASチップの更なる普及

ACASチップを安定供給するため、チップベンダー及び販売会社と連携し、円滑な流通ルートの確保と緊急時の備えのための調整を継続して行った。

また、新規メーカーがチップベンダーとして参入できる様、各種参入条件の策定を継続して検討した。

#### ②消費者、関係者への丁寧な説明

関係する団体や受信機メーカー、放送事業者等と連携することにより、消費者への適切かつ丁寧な説明を行うためにコールセンター等の必要な環境の整備・充実を図った。

また、表記の見直しや新機種仕様等、必要な情報の収集と丁寧な説明により、受信機器が1,200万台超普及した市場環境下で、市場の混乱なく施策・運用を継続した。

### 【2-4：総務・経理部】

総務・経理部では、当協議会運営に関わる体制の整備・充実の取り組みを更に進めた。また、契約面から現行運用スキームの改善等の取り組みを行った。

#### ①法人ガバナンスの強化

公益的な立場からACAS方式の管理維持を行う一般社団法人として、透明性の高い事業運営推進のため、引き続き各種内部規則・規程類について、適宜見直しを図ると共に法令・規則等の遵守に努めた。

## ②会議の運営

社員総会・理事会等の会議の運営にあたっては、社員・委員等との連携をより一層緊密に図り、WEB会議システムも活用しながら、効果的かつ効率的な会議運営を行った。

## ③適正な予算管理

適正な予算管理のため、会計監査人及び顧問税理士法人と連携し、適切な区分経理処理を行うと共に、各部と協議しながら運営経費を見直し、経費の圧縮と中期的な見地から経費の平準化に努めた。

## ④セキュリティ管理の強化

情報セキュリティ管理規程に則り、各部と連携して、管理体制を適宜見直しながら、当協議会内の重要物品・重要情報の管理、漏洩防止、防犯等、セキュリティの管理強化に努めた。

### 3. 法人の運営

2021年度に開催された主な会議は以下の通り

区 分	回 数	開催日
社員総会	第17回（臨時・決議の省略）	2021年 4月13日
	第18回（定時）	2021年 6月30日
	第19回（臨時・決議の省略）	2022年 1月26日
理事会	第67回（決議の省略）	2021年 4月13日
	第68回（WEB）	2021年 5月26日
	第69回（WEB）	2021年 6月30日
	第70回（WEB）	2021年 9月22日
	第71回（WEB）	2021年12月22日
	第72回（WEB）	2022年 3月 2日
運営委員会	第77回（電子メール）	2021年 4月 5日
	第78回（WEB）	2021年 5月25日
	第79回（WEB）	2021年 6月29日
	第80回（WEB）	2021年 9月21日
	第81回（WEB）	2021年12月14日
	第82回（WEB）	2022年 3月 1日

※上記の他、運用委員会、技術委員会を適宜、開催した。